

報告事項1「基本理念の実現に向けた 具体的な取組の考え方」

①食品ロスの削減

令和5(2023)年9月

伊丹市 市民自治部 まちづくり室
減量推進課

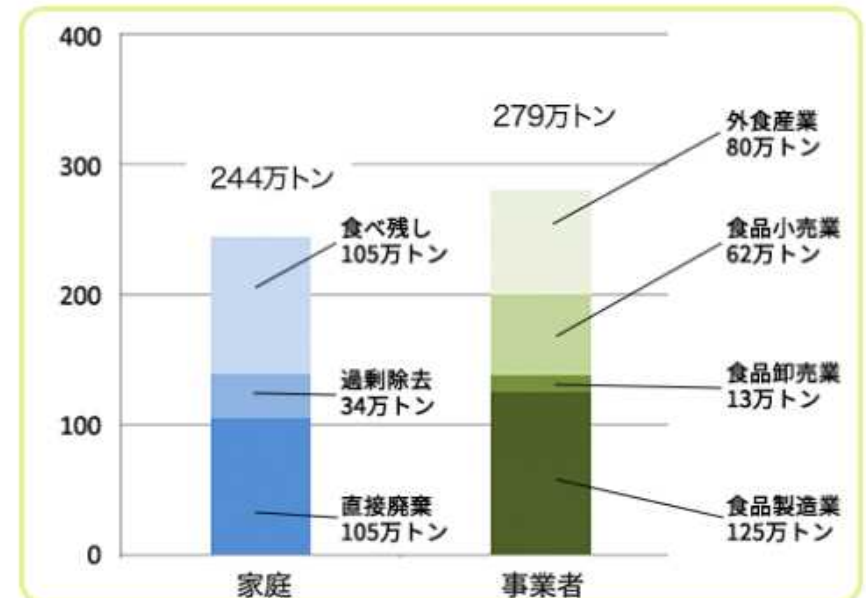
1. 食品ロスをめぐる国の動向

食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針(2020年3月)

【目標】家庭系食品ロス・事業系食品ロスともに、2000年度を基準年度とし、2030年度までに食品ロス量を半減させる。

削減推進のための基本的施策

- (1) 教育及び学習の振興、普及啓発等
- (2) 食品関連事業者等の取組に対する支援
- (3) 表彰
- (4) 実態調査及び調査・研究の推進
- (5) 情報の収集及び提供
- (6) 未利用食品を提供するための活動の支援等



令和3年度推計値

2. 本市の食品ロス削減に向けた取組①

出前講座開催状況

- 「食品ロス削減、ごみの分別・減量(生ごみの水切り等)、充電式電池等を含む危険ごみ」等について自治会や幼稚園等で講座を開催。
- 令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、申込数が減少しましたが、令和4年度後半からは従前通りの開催数となりました。

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施件数 (回/年)	4	10	1	2	6
参加人数 (人/年)	328	244	14	25	163

令和5年度出前講座メニュー
(廃棄物)

- ・ごみ減量化・資源化について
- ・ごみの排出から最終処分まで
- ・それはごみですか？
- ・親子で学ぶごみのおべんきょう

※上記の合計

3. 本市の食品ロス削減に向けた取組②

食品ロス啓発講座の実施

市民団体「ストップ!!食品ロス いたみ」と協働し、フードドライブの開催と併行して食品ロスに関する啓発講座を開催。凹んだ缶詰やパッケージが破れた商品が流通しない実態などを市民に伝えていただきました。



R5/2/15(水)伊丹市役所1Fミニ啓発講座



R4/6/4 アースデイいたみ 食品ロス啓発

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数 (回/年)	3	4	18
参加人数 (人/年)	92	89	538

4. 本市の食品ロス削減に向けた取組③

イベント等におけるフードドライブの実施

家庭の未利用食品を集めてこども食堂や生活困窮者等に食品を提供するフードドライブを、市役所本庁舎や環境イベント等において、市民団体と協働しながら実施。



R5/2/15(水)伊丹市役所1Fフードドライブ



R5/2/15(水)伊丹市役所1Fフードドライブ R4/6/4 アースデイいたみ フードドライブ



フードドライブに寄せられた食品

5. 本市の食品ロス削減に向けた取組④

拠点回収フードドライブ

平成30年度から市民団体と協働し本庁舎でフードドライブを開催してきました。

更に、令和3年度より、協働事業で得たノウハウを基に伊丹市内9か所の拠点回収でフードドライブを実施開始(1回/週)。令和4年度から11か所に拡充。

家庭で不要となる食品を回収し、食品を必要とする家庭やこども食堂等に提供しています。



拠点回収フードドライブのようす

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本庁舎実施回数(回/年)	1	1	1	1	2
拠点回収数				9か所	11か所
回収量(キログラム)	135	292	97	649.9	1,117.6

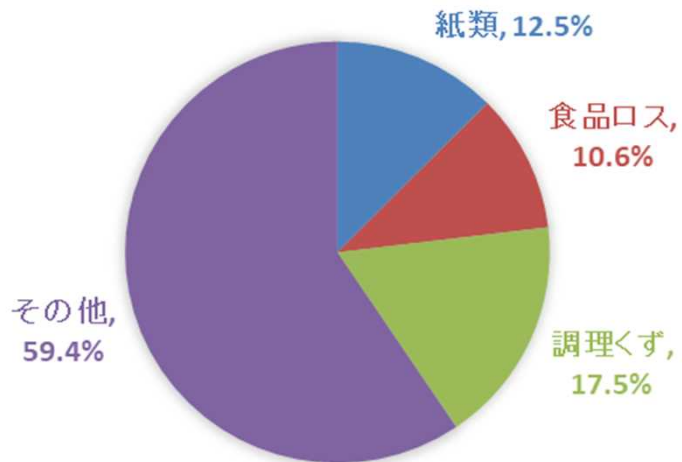


拠点フードドライブに寄せられた食品

6. 伊丹市における食品ロス実態調査

食品ロス削減状況把握のため、平成30年度・平成31年度・令和4年度に家庭系ごみ食品ロス実態調査を実施しました。(令和2・3年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から未実施。)

調査試料中の食品ロス(直接廃棄分・一例)



- 調査サンプルは5地域で**120.49kg**でした。
- 試料中、食品ロス(直接廃棄および食べ残し)の割合は**10.6%**(H31年度12.2%)でした。
- 燃やすごみ処理量**27,428ト**に対し、市域全体での食品ロス量は、約**2,909ト**(H31年度約3,331ト)と推計されました。
- 表記金額、定価、売価、グラム単価等を基に食品廃棄物ごとに価格を設定し、残存率を乗じて食品ロスの金額推計を行ったところ調査サンプル全体で**約1万円**と推計されました。
- 市内の年間食品ロス金額は、**総額約22億円**、1人あたりでは**年間約1万1,000円**と推計されました。

7. 伊丹市における食品ロス削減状況（実態調査結果）

食品ロス削減状況把握のため、平成30年度・平成31年度・令和4年度に家庭系ごみ食品ロス実態調査を実施しました。（令和2・3年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から未実施。）

	平成30年度	平成31年度	令和2年度 令和3年度	令和4年度	令和4年度 対30年度比
燃やすごみ処理量	27,182トン	27,342トン	—	27,428トン	86トン
食品ロス割合	15.3%	12.2%	—	10.6%	△4.7%
市内の年間食品ロス量 （推計）	4,166トン	3,331トン	—	2,909トン	△1,257トン
1人1日あたり食品ロス量 （推計）	58g	46g	—	41g	△17g
1人1年間あたり食品ロス金額 （推計）	17,000円	16,000円	—	11,000円	△6,000円

（1）教育及び学習の振興、普及啓発等

（6）未利用食品を提供するための活動の支援に取り組んだ結果、家庭系ごみについては、食品ロス削減効果が出ています。

8. 令和5年度の取組(継続)

- 令和4年度末に市民協働事業の締めくりとして制作された「伊丹フードドライブ運用マニュアル」を活用し、福祉事業との繋がりとフードドライブ活動の広がりを支援します。
- 拠点回収によるフードドライブを継続し、地域住民の参画を図ります。
- 市ホームページ、SNS、市広報、デジタルサイネージ等を媒体として、フードドライブ活動を市民に広く周知することにより、食品ロス削減と循環型社会の形成を目指します。

あましん フードドライブ
伊丹市後援
SDGsを
台所から!



2023
8.14 (月) ~ 8.31 (木)
平日 9:00 ~ 15:00
場所/尼崎信用金庫 伊丹西支店

堀池口交差点



あましん
バス停

主催 | 尼崎信用金庫伊丹西支店
ストップ!! 食品ロス いたみ
お問合せ先: 尼崎信用金庫伊丹西支店
TEL072-781-6191

市内のデジタルサイネージ



尼崎信用金庫伊丹西支店



市役所1Fファミリーマート

9. 令和5年度の取組(新規)

食品ロス削減協力店登録事業

■概要

食品ロス削減の取組にご協力いただける市内飲食店に対し、「食品ロス削減協力店」として登録を行い、登録店利用者に食品ロス削減を啓発する物品(シール・チラシ等)を登録店に配布します。

飲食店関連団体への事前説明・飲食店への協力依頼

登録店への啓発資材の・配布



「てまえどり」アピール事業

■概要

市内小売店舗と協働で、環境月間である10月に、伊丹市マスコットキャラクターである【たみまる】が「てまえどり」をアピールするレールポップ・ポスターを掲示し、市民に食品ロス削減行動を促します。



10. 今後の方向性

- 出前講座・環境学習等を通じて、(食品ロス削減)(生ごみの水切り)等を促します。
- 拠点回収フードドライブの充実を検討します。
- 事業者、市民団体等が主催するフードドライブ活動を支援します。
- 食品ロス削減協力店制度を、市民・事業者へ広く周知し、協力店舗の増加を図ります。
- 「てまえどり」アピール活動により、食品ロス削減意識を醸成します。